

# 倉掛新聞

【発行所】  
倉掛自治連合会  
井原市井原町倉掛  
会長/掛橋健吉  
【編集】  
倉掛自治連合会  
倉掛婦人会  
倉掛少年団育成会  
倉掛少年団分団第5部  
消防井原

## 第10回井原町民体育祭(5/11)

# 力結集 倉掛は敢闘賞



倉掛の25組全てから30人の選手が出場した綱引き。大奮闘の末のおみやげは筋肉痛だった

好天の下で第十回井原町民体育祭が井原小学校グラウンドで開かれ、倉掛は子供からお年寄りまで男女約二百人が参加し、井原町内八地区の対抗競技を楽しんだ。優勝は本町、二位は下町、倉掛は「ボールけり」や「中学生リレー」更に、「親子リレー」などで高得点をあげ四位と健闘した。

午前九時過ぎ、倉掛のラカードを持つ井原中学一年・山岡恵理さんを先頭に役員・選手団が入場。開会式で森下喜久雄公民館長が「今日一日を楽しく過ごし地域同士の交流を深めて下さい」と挨拶。ラジオ体操



を全員で行った後、演技へと移った。

幼稚園児や小学生が元気良く入場してくると、周りからは声援と拍手が送られ会場は熱気に溢れた。

### ボールけりやリレーで女性陣活躍

最初の採点種目「ボールけり競走」で倉掛は二位と好調な滑り出し。

また、今回初めて行われた女性の「リムリレー」には「コーナーを回るのが難しかったけれど、皆で頑張った」と話す五十一組の佐藤修子さんから四名が出場。数回に渡る練習の成果を出し堂々一位でゴール。倉掛の仲間は無難、場内全体からも喝采を浴びた。

### 綱引き久々に一勝

ここ数年間不調が続いていた「綱引き」で倉掛は久々に一勝をあげた。以後波に乗り、ボールを二人が

はさんで走るPTA種目の「あなたと二人で」は、育成会の男女五組と地区担任の山本・佐藤両先生が巧みに走り抜け、見事二位に入った。

終盤の親子リレー、玉入れ、年代別混合リレーの採点種目でも倉掛は力を発揮、昨年より一つ順位を上げ敢闘賞を受賞した。

日頃培った訓練で住民の安全を守る消防団は、火災を想定した実演を行い初期消火の大切さを訴えた。

一方、「地域にしっかり根付いている婦人会が果たす役割は大きい」と語る妹尾紀子さんから倉掛婦人会の役員は、バザーで弁当や飲み物を販売し、選手や観客に喜ばれた。

倉掛婦人会役員	妹尾 紀子
支 部 長	治子 美多
副支部長	塚村 能み
(会 計)	安原 陽子
(教養部)	
(保健部)	
(生活部)	
任 期	平成9年4月～平成10年3月迄

### 悩みは選手不足

倉掛地区テント設置の一切と、大会運営を共に支えたのが少年団育成会のメンバーだ。倉掛一郎会長は「皆様の協力で楽しい町民体育祭ができました。有り難うございました」と、重責を果たした表情に安堵感が漂っていた。

第十回を数える本大会だが、倉掛地区内からも

「組内の戸数が減ったり高齢化が進み、二三名の方に出場をお願いするのさえ大変。いままじ内容を検討して欲しい」といった意見も聞かれ始めている。

## 地域活動に御理解を

### 自治連合会

掛橋会長が呼び掛け



ところで、最近の消防団員減少化傾向が地域の深刻な課題として受けとめられその対応策について各分野で議論が繰り広げられている。掛橋会長は――

「責務の大きさや長い訓練期間が団員の負担になってくる事は否定出来ないが、地域の事を思う心意気には深く感謝している」と述べ「若い年齢層に対して皆様の御理解と御協力をお願いしたい」と呼びかけている。

### 6月15日の廃品回収にご協力を

倉掛少年団	団 長 倉橋 拓也
	副団長 山岡 悦子
全 団 員	男子 一六名
	女子 一四名
倉掛少年団育成会	会 長 倉橋 一郎
	副会長 関戸 啓一
	副会長 熊谷 典章
	副会長 佐能 隆治
	副会長 山岡 愛子
	副会長 森 和子
会 計	山岡 教弘
全 会 員	二五名

### 倉掛ほっと情報

- 倉掛自治会12-2組が新たに組織された。旧備中織維跡へ15戸の住宅が新築されたのに伴い、全戸揃って倉掛自治会へ加入。なお、本年度自治会長は佐能和志さん。
- 1組に住む連合会役員の片山守さんが4月より井原中PTA会長に就任。同時に、井原後月PTA連合協議会の会長も兼務。

### 発刊にあたって

四月の自治会総会で御承認頂いた手作り広報紙の創刊号が出来上がりました。地域内の行事や情報を倉掛約二九〇世帯の皆様方により知って頂きたいと、自治連合会・婦人会・少年団育成会・消防団が力を合わせ編集したものです。中国新聞販売所の御協力を頂くこの新聞が、皆様の交流の場の一つとして役立つ事を願っております。

### ◆ 行事予定 ◆

- 5/25 汚物積み込み (8時30分～2班で実施)
- 5/25 消火器 薬液、粉末交換
- 6/1 井原分団第5部消防試運転日
- 6/15 倉掛少年団廃品回収 (午前8時～)
- 6/21 自治連合会防犯パトロール (午後8時)
- 6/29 井原学区球技大会
- 7/20～21 倉掛少年団キャンプ (広島県立ふれあいの里青年の家)

モンゴル国際マラソンの立役者

倉掛の藤原達一さん快挙

盈進高校時代に全国高校駅伝で優勝経験をもつ倉掛の藤原達一さん(50歳)が、昨年3月、モンゴルへパンの製造指導に行った際、「ここでマラソンを開催したら」と進言したのがきっかけとなり、今年8月10日、モンゴル初の国際マラソン大会が開かれる事になった。



藤原達一さん(12-1組)

藤原さんはこれまでモンゴルを三度訪れ、オリンピック委員会やジャムツ会長や陸連関係者と度重なる会談の末、国際マラソンへ向け準備を進めている。国内においても旅行会社やマスコミ、各種団体などを通してPRに奔走。既にこれまで地元井原周辺の市民ランナーを始め、ロック歌

国家レベルの大会へ大きく進展

手の葛城ユキさんや、陸上名門校の報徳学園より鶴谷監督以下選手八名も参加を予定するなど、多彩な顔ぶれが第一回モンゴル国際マラソンに花を添える。

ところで先日、モンゴル政府筋からのファックスで日本とモンゴルの国交二五周年を記念する行事のメインイベントに、今回のマラソン大会が決定したとの一大ニュースが飛び込んだ。夢は大きく膨らみ、フレンドシップデーとして相応しい国家レベルでの大会へ発展しそうな気配に、関係者もいささか戸惑い気味。

これまで地域の陸上競技振興に尽くしてきた藤原さんは「モンゴル陸上界の活性化に繋がれば嬉しい。大草原が広がる国と一緒に訪れてみませんか」と幅広く参加を呼びかけている。

昭和三九年、都大路の六区を区間新の区間賞でチーム優勝に大きく貢献し、栄えある高校日本一に輝いた倉掛の一人の男性が、両国の新たな友好の架け橋を今築こうとしている。



4月25日、藤原さん取材のためNHK岡山放送局が井原を訪れた



今年も活躍の西村敏さん11年代別リレー

安原光夫さん(左)と藤井晴美さん(右)＝宝釣り



原町民体育祭



藤井大輔君11中学生リレー



倉橋拓也君11小学生地区別リレー

町民体育祭 スナッフ集

ゴールデンウィークの頃から急に暑くなっていたが、大会日はまずまずの天候。観客の笑いを誘う予想外の珍プレーも多く見られたり、各地区の出場者同士がテント裏で顔を合わせ「久しぶりじゃな〜」と暫し談笑する姿などで、グラウンドは終日賑わった。



歓声に沸き返る倉掛地区テント



お母さんと楽しく遊戯する幼稚園児